
日本国民参加型ゲーム

two

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本国民参加型ゲーム

【Nコード】

N0983Z

【作者名】

t w o

【あらすじ】

平和な日本で突然始まった殺人ゲーム！！

ゲームクリアの条件は・・・

何人生き残れるのか？

それともゲームオーバーとなってしまうのか・・・

4月1日 カズヤ宅

10:00

けたたましいアラーム音が家中に鳴り響く。

こんな早い時間でだるいが早く起きて準備をしなければ。
今日は絶対に遅れることはできない。

大学は春休み中なので、いつもは昼過ぎまで寝ている。

そんなおれだが、今日は早起きだ。

ユイとのデートの約束があるからだ！

…まあ、まだ付き合っちゃいないが…今後付き合えればいいな…と。

おれはカズヤ。

大学3年生になったばかりの20歳。
趣味は野球。

野球サークルに所属。

バイトして遊んでの、典型的な大学生活を送っている。

今日のデート？のお相手はユイ。

大学2年生。

サークルの後輩。

綺麗な黒髪が印象的だが、おっちょこちょいで守ってやりたくなるような可愛い子だ。

… 12時に渋谷かあ、がんばるぞ！

4月1日 渋谷八チ公前

12:03

やばい、まさかの遅刻…ぎりぎり間に合うと思ったが微妙に間に合わない…

せっかく早く起きたのに何やってんだおれは…

まだ電車の時間まで余裕があると思ってコンビニに立ち寄ったのがいけなかった…

まだ読んでない週刊誌が目につき、ついつい立ち読みし始めたら、電車に乗り遅れてしまった…

前の彼女と別れた原因がこれだ…

…全然おれ成長してないよ…

「ごめん、ごめん。ちょっとバス遅れてて、一本電車乗り遅れたちやっただよ」

…しょうもない嘘をつくところも全く直らないか…

「だいじょうぶですよ。今日映画ですよ？私、久しぶりの映画です

「こい楽しみにしてたんですよ」

屈託のない笑顔がおれの心拍数を押し上げる。

…がんばるぞ！

3

4月1日 渋谷某スポーツバー

19:10

映画を見て、しばらくぶらぶらした後、おれはユイとスポーツバーへ向かった。

おれとユイの共通点は野球好きということ。

プロ野球が開幕し、一緒に野球を見れると思い、ここを選んだ。

「あのシーンよかったよね。思わず涙腺ゆるんだよね」

「そうですね！予告見た時からどうなるか楽しみだったんですよ。まさかの展開で最後はすごい感動的でしたよ」

今日見た映画は、ユイが前から見たいと言っていた恋愛物だった。

正直、おれはアクションのほうが好きだ。

ユイを落とすためにおれは好みでもない映画を見て、柄にもないことをしゃべっている。

（さて、これからどうするか…サプライズを準備しているがどのタイミングかが大事だぞ）

ガガッ、ガガガー、ガガー

急に店内の野球中継をしていた巨大スクリーンの画像が乱れた。

そして、途切れた。

ザー――

ザー――

画面は砂嵐になってしまった。

カタ、カタカタ、カタカタ、カタタタタタタタ…

砂嵐の上に何か赤い文字が浮かび上がる。

『日本国民参加型ゲーム』

「日本国民参加型ゲーム？なんだこれ？」

店内の客はみんなおれと同じリアクションだ。

店のなんかのイベントか？とも思ったが、従業員の一人はリモコンのボタンをあちこち押しており、

もう一人の従業員は配線の確認をしているのを見ると店のイベントでもないことがわかった。

「おいつ、ここにも同じの出てるぞ！」

客の一人が自分の携帯を見せながら叫んだ。

おれも急いでジーンズの左ポケットから携帯を取り出す。

よほど慌てていたのか、携帯がうまく手に収まらず、携帯を落としてしまった。

床に落ちた携帯。

その画面にも…やはり…

『日本国民参加ゲーム』

砂嵐を背景に赤い字。

ユイの携帯にも同じものが…

「キヤー！、何これ？なんなのこれ？気持ちわるい…」

見れば見るほど薄気味悪い映像だ。

砂嵐をバックによく日本のホラー映画で使われるような字体。

赤い文字からは少し血が流れているかのように見える。

その文字、言葉が砂嵐の中、震えるように小刻みに動く…

微かに消えてはまた網膜に焼き付けんとばかりに濃く浮かび上がる…

そこへ少し前に会計を済ませた常連客の一人が、ドアを叩き破る勢いで戻ってきた。

「外が大変なことになってるぞ！」

このバーは地下にあるので周りの状況はよくわからなかった。

おれは席を立ち上がり地上めがけて階段を駆け上がった。

地上に出たおれを待っていたのは、

『日本国民参加型ゲーム』

『日本国民参加型ゲーム』

『日本国民参加型ゲーム』

『日本国民参加型ゲーム』

……

……

……

正面のビルの巨大スクリーン、

店頭に面したハイビジョンテレビ、

道行く人々の携帯、カーナビ……

恐ろしいあの映像が辺り一面を覆い、ネオンが輝く街を不気味な雰囲気に変えている。

ジー、ジジツ、ジジツ…

雑音と共に『日本国民参加型ゲーム』の字が消えて行く…

カタ、カタカタ、カタカタ、カタ

代わりに出てきた文字は、

『一億三千万分の一が犯人』

それと…画面の右上には小さく…

『130,000,000/130,000,000』

…と…

ただ…、これは…、ゲーム…、です…

僕も…、何も…、しないで…、殺されるのを…、待つわけでは…、
ありません…

僕は…、あなたたち…、日本国民…、全員を…、殺します…

あなたたちが…、僕を…、殺すのが…、早いか…、僕が…、日本国
民を…、全滅…、させるのが…、早いか…

ちなみに…、現状を…、見ても…、わかるように…、僕は…、すで
に…、日本の…、全ての…、電波を…、支配…、しています…

衛星も…、ジャック…、しました…

画面の…、右上を…、見て…、下さい…

今…、

『一億…、三千万…、分の…、一億…、三千万…』

に…、なつて…、います…

僕が…、一人…、殺して…、いく度に…、分子が…、一ずつ…、減つて…、いきます…

『一億…、三千万…、分の…、一…』

に…、なるまでに…、僕を…、殺すことが…、日本国民の…、皆さんの…、ゲームクリアの…、条件…、です…

逆に…、それまでに…、僕を…、殺せなければ…、ゲームオーバー…、です…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0983z/>

日本国民参加型ゲーム

2011年12月5日21時56分発行